

広報いしかわ

Ishikawa Prefecture

テレビ広報

北陸放送
【ほっと石川】
3月12日(土) PM5:00~5:30
「平成23年度当初予算」
石川テレビ
【ウィークリーいしかわ】
毎週日曜 PM5:25~5:30

テレビ金沢
【石川まるごと探検隊】
3月20日(日) AM7:30~8:00
「伝統産業工芸館」
北陸朝日
【石川ほっとニュース】
毎週土曜 PM5:55~6:00

ラジオ広報

北陸放送
【県からのおしらせ】
毎週火・金曜 PM2:30頃(3分間)
エフエム石川
【素敵にモーニング】
毎週日曜 AM9:55~10:00

ホームページ www.pref.ishikawa.lg.jp E-mail e130500b@pref.ishikawa.lg.jp 行政相談 ☎076(225)1100

石川の飛躍に向け、ステップアップ

平成23年度当初予算案

一般会計

5,058億5,800万円

平成22年度第1次3月補正予算案

30億3,513万円

交流が盛んな特色ある地域づくり

(1)北陸新幹線金沢開業に向けたアクションプラン(STEP21)の推進

- 北陸新幹線の着実な建設促進
- 新幹線・交通対策監室に「並行在来線対策課」を設置し、運行を引き継ぐ第三セクター法人の経営計画を策定
- 二次交通アクセスの強化
- STEP21重点プロジェクトの推進(先導的な取り組みへの支援)

●食文化の魅力向上

「いしかわ食の歳時記(仮称)」と銘打ち、石川の季節をイメージする食材を選定し、首都圏へのアピールや、協賛店舗でその食材を使ったこだわり料理を提供するほか、「いしかわ食のてんこもりフェスタ」を今年度に引き続き開催し、食を通じた地域おこしの取り組みを発信します。



「いしかわ食のてんこもりフェスタ」では、県内各地の地域おこしご当地グルメを紹介

- 金沢城の魅力発信(橋爪門の復元整備、玉泉院丸跡の暫定整備)
- 歴史博物館リニューアルに向けた基本設計

●いしかわ動物園のコビトカバ舎の整備

新たな動物園の魅力アップのため、日本海側の動物園としては初めてとなる、世界三大珍獣の一つといわれるコビトカバの導入に向け、カバ舎を改修します。



参考 コビトカバは、成体でも一般的なカバの子どもと同じ大きさ
体長150~175cm、肩高75~100cm、体重160~275kg

(2)観光誘客の拡大

- 首都圏誘客500万人構想の推進に向けた「いしかわ観光特使」など口コミによる情報発信の強化

(3)人・ものの広域交流のための基盤整備の推進

- 小松空港・能登空港の利用促進
- 金沢港・七尾港の整備・利用促進
- 能越自動車道、金沢外環状道路、南加賀道路の整備促進
- 能登有料道路、加賀産業開発道路の4車線化着手など



平成23年度当初予算については、引き続き「経済・雇用対策」を最重要課題にかかげるほか、3年後に迫った北陸新幹線の金沢開業に向け、開業効果を最大限に引き出し、県内全域に波及させる取り組みのギアを一段上げていくとともに、県民の安全・安心の確保などの足下を固める施策についても、きめ細かく取り組んでいくこととし、厳しい財政状況の中「選択と集中」を念頭に編成しました。

安全でうるおい豊かな環境づくり

●里山里海の利用・保全

「生物多様性戦略ビジョン」に基づき、里山の利用保全を推進する司令塔として、環境部に「里山創成室」を設置するほか、多様な主体の参画による里山を活用した前向きな取り組みを資金面から支援する仕組みとして、地元金融機関の協力を得て、50億円規模の「里山創成ファンド(仮称)」を創設し、地域資源を活用したビジネスの創出や里山里海地域の振興に取り組んでいきます。



- 地球温暖化防止の取り組みと環境負荷の少ない社会づくり(住宅の省エネ化、企業のエコ化促進)
- 安全で良質な地域医療の安定的な確保(能登北部への診療支援の強化、南加賀地域救急医療センター(仮称)の整備支援、県立中央病院の基本構想の策定など)

みんなで支える安らぎのある社会づくり

- ワークライフバランスの推進
- 保育所への通年入所に向けた支援
- 放課後児童クラブの開所時間延長の促進
- 地域支え合い体制づくりへの支援(地域福祉支援計画の策定、地域見守りネットワークの構築)
- 「ゆーりんピック2011」の開催(5月14日・15日ほか)



「ゆーりんピック」のマスコット「ゆーりん」

未来を拓く心豊かな人づくり

- 小学校3・4年の35人学級選択制の実施
- 学力向上に向けた中長期的指針「いしかわ学びの指針12か条」の推進
- 「日本スポーツマスターズ2011石川大会」の開催(8・9月)

魅力ある産業としての農林水産業づくり

- 米粉等新たな需要への対応(米粉商品のポイント制度のモデル実施)
- 県産水産物の販路開拓(水産加工品の外食産業等への販路拡大)

経済・雇用対策

(1)経営・資金・雇用の3つの安心の確保

●戦略的な販路・受注開拓の推進

- 基幹産業等のそれぞれの現状を踏まえた販路・受注開拓支援の拡充

・県内企業の優れた技術・工法を大手メーカーに売り込むための技術提案型展示商談会において、新たにメーカーの技術者を招いての展示商談会を開催するなど年間の商談会回数を倍増(4回→8回)

・これまで東京で開催していた県内企業と大手アパレルとの懇談会を県内で開催し、新たに大手百貨店の商品仕入れ担当者等も加え、ビジネスチャンス拡大

・スマートフォンのソフトウェアなど県内IT企業の強みが活かせる成長分野で、県内企業と首都圏等のIT企業とのマッチングを推進

・首都圏のセレクトショップなどのバイヤーを招へいし、伝統産業の事業者との商談を実施

- 市場拡大が見込まれる海外への展開支援
- ・輸出倍増を目指す企業の支援
- ・米国での石川の食文化の展開による販路開拓や誘客促進



- 企業ドックの拡充による経営基盤の強化(1,000回→1,500回)
- 緊急経営安定支援融資(600億円)・借換融資(300億円)の新規融資枠の確保
- 再就職の支援(求人開拓推進員の配置・職業訓練の拡充)
- 緊急雇用・ふるさと雇用の基金により、4,156人分の雇用を創出
- 高校・大学の新規卒業者や学卒未就職者等の若者への就職支援

(2)公共投資の確保による地域経済の下支え

景気を持ち直しの動きをしっかりと後押しするため、引き続き積極的に公共投資の事業量を確保し、国の地方財政計画の伸び率がマイナス5%のところを、ほぼ今年度並みの事業量を確保しました。

投資的経費▲0.1%(地財▲5.1%)
うち単独事業+1.1%(地財▲5.0%)
さらに年度末・年度始めの端境期においても切れ目なく公共投資の事業量を確保し、その早期執行を通じて

地域経済の下支えを図るため、平成22年度第1次3月補正予算として、30億円余の投資的経費を追加上しました。

(3)景気回復を見据えた未来への先行投資

いしかわ次世代産業創造ファンドによる研究開発支援と、「いしかわ次世代産業創造支援センター」開設による共同研究開発拠点の整備により、炭素繊維、航空機、機能性食品などの次世代産業を創造します。

●戦略的企業誘致の推進

企業の生産拠点の大規模化、集約化の動きを踏まえ、既存の誘致企業補助制度の拡充と、県外から移転してくる従業員やその家族の住環境や教育、就職に関する相談にもきめ細かく対応するサポートデスクの設置により、企業誘致を推進します。

- ・大規模増設投資、中枢管理機能の大規模移転(限度額15億円→30億円)
- ・増設補助拡充(新增設合わせて限度額5億円→10億円、増設1回あたり限度額2億円)

最大補助額(市町分と合わせ) 35億円→50億円

今年度、新たに策定する行財政改革大綱に基づき、歳入歳出全般にわたる行財政改革に着実に取り組んでいきます。
○歳入の確保、職員費の削減、一般行政経費の見直し、投資的経費の見直し、民間委託等の導入・拡大など

地方分権時代における自立的かつ持続可能な行財政基盤の確立